

赤潮情報（7）

令和6年8月6日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

8月6日に全域調査を行った結果、有害プランクトンのカレニアミキモトイが沖合では確認されませんでした。また一部の漁港内で確認されております。

細胞密度は前回調査よりも減少傾向ですが、本種は局所的に密集することが多いため、注意してください。

<有害プランクトンの状況>

○カレニア ミキモトイの1mlあたりの最大密度は132細胞でした。

- ・本種は、海水1mlあたり数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- ・魚介類によってはへい死の恐れがありますので、漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。また変色域付近ではスカッパを閉めて航行するなど、活け間の魚の状態にも注意してください。

<今後の対応>

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、増田)までご連絡下さい。

漁場調査結果

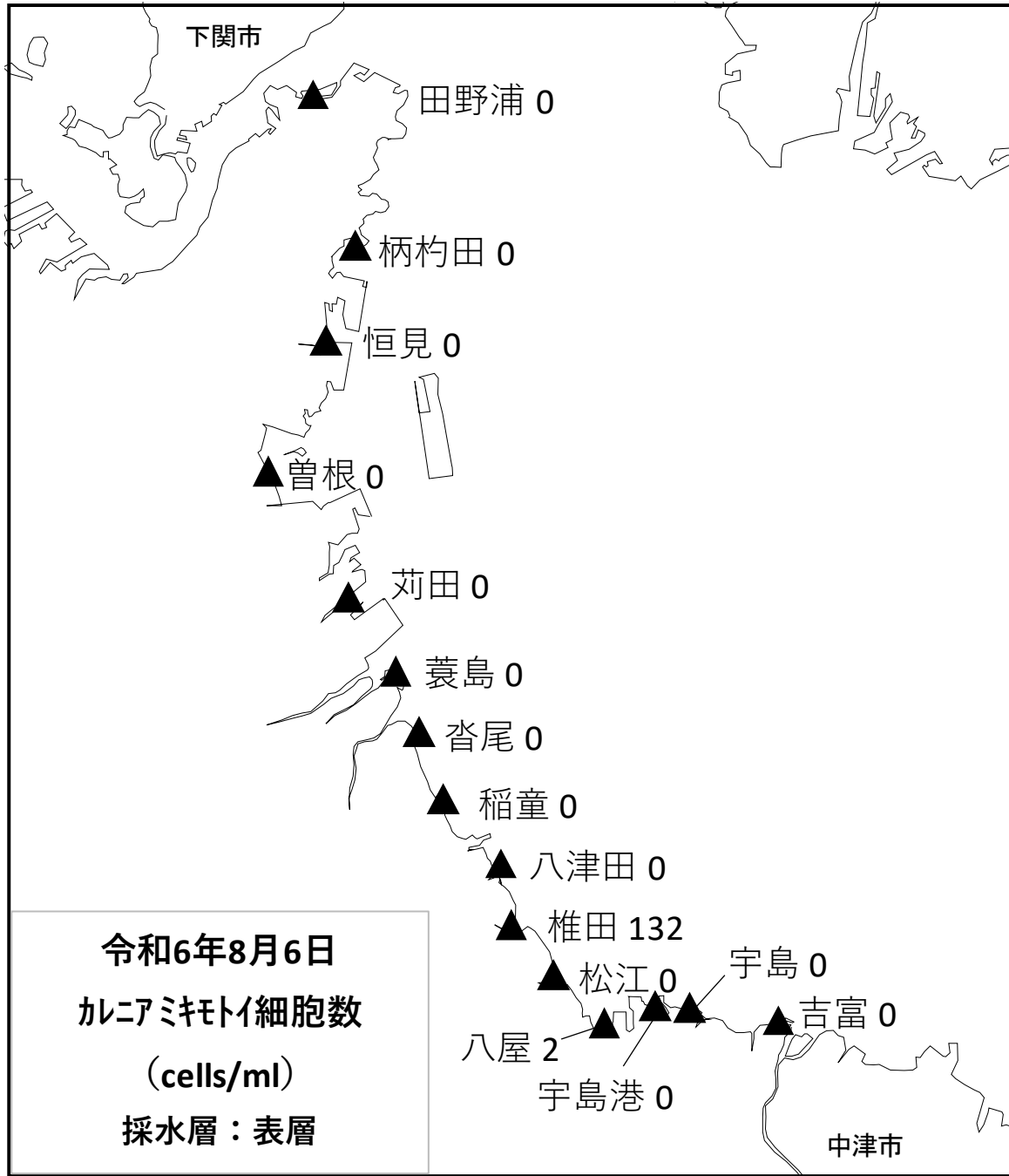


図1 カレニア ミキモトイの漁港域の細胞数

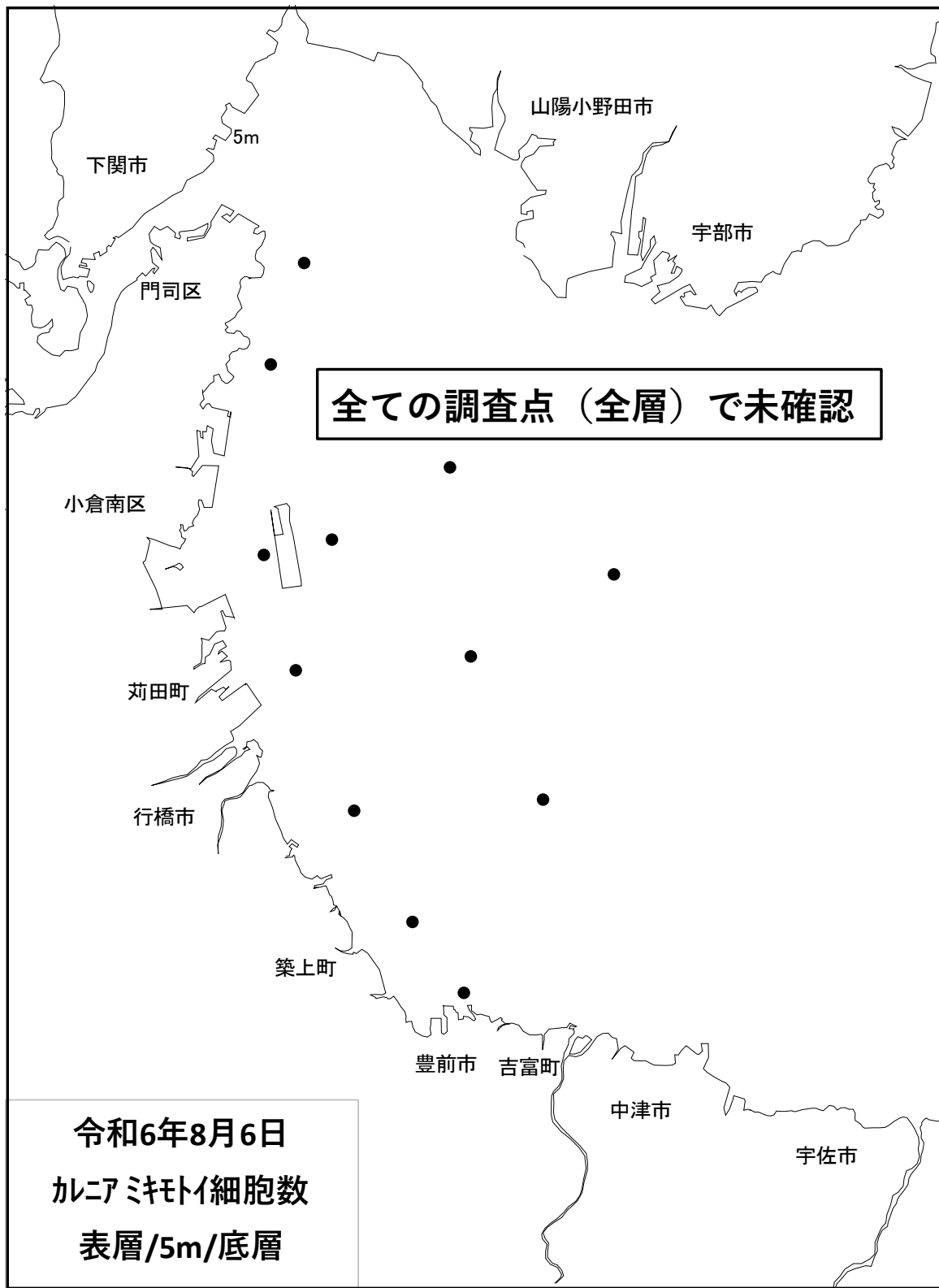


図2 カレニア ミキモトイの沿岸域の細胞数